

4. 議事

(1) 令和4年度事業報告及び事業評価

- (事務局) 資料3、4及び事業評価シート(貸館事業)の説明
(委員) 貸館事業ですから、民間事業者に貸したということで、市がやったのは入っているのか。
- (事務局) 民間プラス市の方の行事の人数も入っている。
(委員) 両方入っている。コロナの予防接種の人数は入っているのか。
(事務局) コロナのワクチン接種の人数も入っている。多目的ホールで行ったもの、人数も入っているので、若干増えていることはある。
- (会長) ワクチン接種で何人ぐらい利用されたのか。
(事務局) ワクチン接種は7月、8月、あと、11月、12月、場所にしましてこちらの多目的ルーム、8頁をご覧くださいだければと思うが、多目的ルーム、創作ルーム、業者さんが入っている、主には市民の方が使ったということであれば多目的ルームに人数が入っている。月数にしては、多目的ルームの7月の人数だと3,517人の中に含まれている、あと、8月1,598人、11月の3,282人、12月の4,570人、1月の2,085人の中に含まれている。
- (会長) ワクチンという計画されたものではないものも入っているが、ハストピアの評価はBでしたが、協議会としても評価をお願いしたい。とくにすごいというところはないが、どうのというところもなく事務局のとおりBと思うが、皆さんはいかがか。では、Bということでお願いします。
- (事務局) 資料5及び事業評価シート(自主事業)の説明
(委員) 質問というより自主事業のストリートピアノは認知が深まってきていると思った。女性がハストピアでピアノ弾けるという話をされていて本当に素晴らしい、すごい功績だと思う。
- (委員) 人数がどのくらい集まったかわかるのか。
(事務局) 別冊参考資料の11頁、15頁チラシの説明
(委員) これはどういうふうに配ったのか。
(事務局) 当日、その前に市内の公共施設、色々なところにチラシを置かせていただき、お知らせさせていただいた。急きょ決まったところもありなかなか周知の方はいかなかったが、当日は70、80名の方が来てくださって天気もよろしくて、外の左手の方にあるところで、電子ピアノを出してそうちゃんという方のコンサート、プラス、キャッツのコンサートをさせていただいた。
- (会長) ストリートピアノ、ピアノは素晴らしいピアノがここにあるので大いに活用できているという気がします。その都度これだけの日にちで実施しているのには相当ピアノを出しているし調律もきっと必要だろうと思うので大変な手間がかかる、よくやっていただいている。
- (事務局) ストリートピアノについては、多目的ルームが、会議で使っている時に、ホールでピアノを大きく弾いてしまうと他の方のご迷惑になってしまう。なるべく空いているところを見つけて、1か月ぐらい先の予定をホームページで紹介をさせていただいている。それに加えてハストピアとパルシーのインスタグラム、ツイッター、そちらの方で皆様の方に周知の方をさせていただいている。また、当日もまだ、空きがあるようであれば、そんなに混んでいないということやこういう方が来てますと、最近では県外の方も結構いらしてくれて

	<p>いるので、そういった方のご紹介を、以前、ジェイコムさんから動画を流した方がいと、アドバイスをいただいたが、なかなか我々の技術力が伴わなくてうまくできていない部分もある。写真を載せさせていただいたり、そういった形で当日でもまだ弾けるということ Instagram、ツイッター等で流している。</p> <p>(会長) 委員からもありましたが、他のホール市外のホールとか、こういう活動の状況、わかりますか。蓮田が先進的にやっていることになりませんか。</p> <p>(事務局) 私の知る範囲ですが、結構県内でも、例えば市役所にピアノを置いてお昼休みの時間だけ弾けるとか、そういったところもある。県民活動総合センター、伊奈にある、そちらでも置いてあると話はいただいている。常設しているところもあるが、逆にお客様からお話をいただいているのは我々の方では月に2回やっているの、その日をタイミングを逃さないように随時チェックしている、逆にプレミア感が出るような部分もある。毎日毎日弾けるわけではなくてある特定の時間に弾けるということで、そういった意味では人気が少しずつ出てきていると思っている。</p> <p>(委員)</p> <p>(事務局) ハストピアフェスティバルはどのようなフェスか。</p> <p>(事務局) ハストピアフェスティバルに関しては、2日間ハストピア全館を使い、ハストピアサポーターズのご協力により、ホールではみんなのどきどきコンサート、また、多目的では縁日を開催させていただいたり、創作ルームでは、粘土作品作り、また、ギャラリーでは郷土を描く作品展ということで小学生の作品をお借りして展示させていただいた。また、市制50周年ということで、中学校の部活、美術部にパネルを描いていただき、そちらの展示もギャラリーののせていただいた。また、スタジオ1では小学生バンド、関口会長さんのところでご担当された、小学生バンド、「声を出して読む」といった演劇に関するイベントも盛況な形でやらせていただいた。ホールは1日目が、どきどきコンサートで、募集をかけて歌、歌唱や、ピアノ、また太鼓の方の演奏していただいたり、次の日はダンスということで、市内、市外の方もいるがダンスの発表もさせていただいた。縁日のブースは大変盛況であった。こちらの収入ということで、100円のチケット制で2日間で、約1000人という方のご来場をいただいて小さいお子さんから大人まで、楽しんでいただけたと思う。説明にはなかったが、キッチンカー等もそれぞれ、東京混声合唱団の事業以外はお呼びして、出させていただいている。</p> <p>(委員) 別冊参考資料1ページ、平成28年度から令和3年度までの表になっているが、平成30年度と令和元年度を比較するとわかりやすいが、一番下の計、人数のピークは平成30年度にきていて、そのあとコロナの影響等で下がっていると思うが、世間で言われているコロナの影響というのは、令和2年度から現れ始めているのが多いと思う。すでにこのハストピアにおいては平成30年度から令和元年度にかけてのところで、下り坂にきていたということは注意した方がいい。おそらく最初開館してからはじめは、珍しいもの見たさ、新しいもの見たさで行っていたが、段々そういうものかとわかってきて落ちて来てしまったということだと思う。やはり集客が必要だと思う。私が評価したいのは理由はともあれピアノというものにこだわってストリートからお客さんを呼べる人たちのコンサートを開いてピアノって一つのテーマでかたくなに年間通じてテーマ性を持</p>
--	---

たせてやられたというのはとても評価していいと思う。これからもピアノの聖地というのは大げさかもしれないが、蓮田をそういうふうにしていってもいいんじゃないかと思うので、それにはストリートピアノっていうすそ野を見せたいうえで、今度は、さいたま芸術劇場で演奏するようなピアニストも見せるみたいなことを、年間1回2回はやることで蓮田はピアノの街だ、大げさかもしれないと言えるのではないかと思う。もうひとつ、今度は本資料の9ページ、課題と今後の方針の中に、その他のジャンルなどをサポーターズと連携しながら計画的に企画していくというのが、やっぱりピアノだけに頼っているとピアノだけのそういう方々しか集まらないので、ジャンルをピアノと並行して他のところにも広げる必要がある。そしてまずハストピアを知ってもらうこととして、自分たちも使ってみようと思う気にさせるということも必要だと思う。それには誘客、来てもらうということ、そのためのジャンルをどこに向けていくかというのを考える必要があると思う。

(事務局)

質問が1つ前に戻るが、稼働率の部分については、人数の方が若干少なくなっている。私どもでも、ご指摘いただいた人数の減少について、今後も注視していきたいと考えている。ただ、確か私の記憶でいくと、令和元年度の終わり頃にも、公共施設は若干そういった影響が出てきており、使用が控えられていたということもあったかというふうに記憶をしている。ただし、人数が少なくなっていることは確かなので、この辺の原因も考えながらいきたいと思っている。事業については、ご指摘いただいたピアノ事業について、私が非常に頑固にピアノをずっと進めておりましたので反省しつつ、令和5年度に生かしていきたいと、この後また、新年度の事業計画で私だけではなくてサポーターズの皆様や、若い職員からも色々ご提案させていただきいくつか多様なピアノだけにこだわらずに、色んなジャンルにまたがった事業の方を計画しているので、また、後ほど説明させていただく。東京混声につきましては、実はこの後説明をさせていただくが、会長さんからもお話がありいち早く決めさせていただいて、今年の12月にもう一度チャレンジということで事業の進めさせていただきたいと思っている。私は3年目になるが、チケットの販売の仕方はずっと課題で、今までハストピアの窓口、中央公民館の窓口で手売りで販売していたものが、それしかなかったのだが、インターネットでも販売をするようになり良かった点というのもたくさんある。ただ、品物というかやる公演によってはインターネットで販売するよりもやはり地元の方々が来たいというものについては窓口でチケットを販売した方が売れ行きが良かったり、一つのことにとこだわらずにその公演によって販売のやり方、手売りでインターネット販売の比率を変えていく必要もあると、今まで、昨年からやり始めたが、その辺が反省材料だと思っている。東京混声は、やはり地元の地域の方でこういった音楽を楽しみたいという方がたくさんいらっしゃるようなので、窓口販売も枚数を増やして、また公演PRも早めに始め長い期間販売をして皆さんにお求めいただくように努力してまいりたい。

(会長)

色々なご質問、事務局からの回答をいただいて、評価の材料、皆さんが判断できるようになったかと思う。ストリートピアノ系はすごく独創的ユニークで素晴らしい成果は上がっていると思うが、今のチケット販売の問題や、色々課題もあるわけで、全部Aにはいかな

	<p>い、やはりBということなのかと思うが、いかがか。それでは、Bということをお願いする。</p> <p>(2) 令和5年度事業実施状況 (事務局) 令和5年度事業実施状況の説明</p> <p>(3) 令和6年度事業計画(案) (事務局) 令和6年度事業計画(案)の説明</p> <p>(委員) ウィンドオーケストラは素晴らしい。せっかくなので、クリニックなど、子供達にやることはやってもらったほうがいいのではないかな。楽器のクリニックとかはどうですか。</p> <p>(会長) それは良い。蓮田出身でテナーサックスという楽器をやっている方がいる。蓮田の子供達と何か関わりを持ってやってもらう。</p> <p>(委員) とてもいい方がきてくださると聞いてうれしかったが、特に伊奈学の吹奏楽部の演奏となると、チケットが取れないくらいとなるので、日本むかしばなし、オーケストラや演奏会のチケット販売はよく考えていただいて、市民の方にもたくさん来ていただきたいが本当に大ファンな方はかきわけても来たいという方もいらっしゃるの考えてもらいたい。</p> <p>(委員) 春風亭一之輔がここに入っているの、びっくりしたが、ハストピアは売れたり売れなさすぎたり、落差が激しいと思ってましたが、よく取れた、押さえられたと、先ほど計画について一つ意見があると言ったのは、説明がありました近藤良平さんの埼玉回遊のこと、今、さいたま芸術劇場の芸術監督が始めていて蓮田市も立候補して誘致したらどうだというような話をして、それで新しい来客を増やしたらいいと思ったら、報告がありまして、同じ意見でした。感じていることだが、チケットを売る時にその場所で売ろうとそのコンテンツコンテンツで売り方を考えていこうと館長がおっしゃったのは、まさにその通りで、この間、ある団体から山田邦子さんの講演会をソニックでやることになったが、お客さんが全然集まっていないという相談を受けました。理由は山田邦子さんが乳がんをやったので、乳がんの話とかを中心にお話していただくとなった途端に、男性の入場者が少なくなって、三分の一も入れるものも入っていないと、そこで私も思ったのですが、乳がんが来なくなったのだったら、乳がんと呼べばというふうに考えました。ピンクリボン、いわゆるサーモグラフィとか、受診を上げていこうと活動をしている団体がありますが、そこへ電話しました。案の定、山田邦子さんのことをよく知っていて、ステージに上がってお客さんが前の方にしかいないと言ったら、県南の団体と県北の大きな団体2つが協力してくれて4分の3くらいは埋まってくれたという話を聞きました。どこで何枚割り当てるといよりもその出し物を見たがっているという人はどこなのかというふうに常に考え、そこに何かご案内なりPR宣伝をすると考えていけば、あそこに案内しようというのが出てくると思うのでがんばってもらえればと思う。例えば、もし、和太鼓の催しで来場者が仮に思わしくないと思ったら、和太鼓とミックスして、太い文字を壁に描いたり、かい書をする。和太鼓のバックで書道関係の方に描いてもらう、そうすると、関係者の方を呼んでくれる、そういう形で和太鼓ファンと書道ファンをミックスしてお</p>
--	---

	<p>客さんにきてもらう、困ったときは色々考えれば出てくると思う。事務方にまず自分を鍛えて訓練してもらってやっていけばハストピアもまだまだ未来は明るいと思う。</p> <p>(会長) 関わっている世界ともう一つは年代によってネットが全然ダメな世代があるわけで、今は 60、70 は大丈夫だと思うがそれ以上はおそらくネットで買ってください、ここで電子的に手続きして下さいは無理だと思う。そういう人も安心して買えるようなことを考えたり、色々な方法を、こことここでしか買えないっていうのではなくて、何か方法を考えて、おそらくさっきの東京混声も聴きたいけどどうしたらいいか、手に入らない、券が買えなかったということがあったと思う。</p> <p>(委員) 令和 6 年度ハストピア事業計画 (案) について、13 頁は開催予定日はあるが、14 頁は開催がまだ決まっていないのか。大体決まっているのかということと、市長が昔話のダンスと言ったが、収入が予定で 90 万ぐらい、支出は 160 万では 70 万どこから出すのか。令和 5 年度もまだ 2 つしか終わってませんが、5 月 28 日は、60 万の売り上げで、約 180 万ぐらいを支出している、この赤字はどうするのか。</p> <p>(事務局) まず、開催予定月が入っているものと、入っていないものということだが、令和 6 年度ハストピア事業計画 (案) ということ、今日皆様にお示ししまして、色々なご意見をいただきたいために、月が入っているものはこのぐらいの月で開催できるかどうかということでご提案いただいた金額等がこちらの支出の、委託料だけが入っているような形だが、取り急ぎ大まかな概算で出演料やそういった委託をする場合でのお見積もりをいただいて金額が入っている。開催予定月も入っているものもあるが、まったく決まりということではなく、こちらの方で考えて、このような内容で提案したいということである。全部が全部できるという形ではないと思うが、ある程度こちらの事務局で精査させていただくようになる。まずはご提案の時点で皆様にお示しして、先ほど委員からもあったように、東京佼成ではクリニックが入ったらどうかなど、そういったご意見をいただくための本当に大まかなものである。支出金額に関して、これだけでなくチラシ印刷や、広報活動に関して別途かかる。ピアノを扱うようであれば、ピアノの調律代等もかかるのでそこは現時点ではお示ししていない。ご了承いただきたい。</p> <p>私の方から一つ、毎回議論になってどっちがいいのかというのが色々あるが、前回もあったように収入の部分、委員からもご質問があった収入に対して支出が多いのではないかとということがある。運営協議会の委員からはやはり収支に関して事務局の方で少しよく考えて収支を組んだほうがいいという事業もあるし、収支だけでなく今回の場合、今一例として挙げていただいた令和 5 年度の「サーカスエコロジカル」については、昨年度、子供の事業が少ないとご指摘を受けたので、子供さんも入れるような事業を事務局で入れさせていただいた。お一人お父さんお母さんが来ればお子さんが 2 人くらいは来るということで、お子さんの料金をぐっと下げたところ収入について当然のことながらチケット収入は下がり、事業自体はガチャピン・ムックが来るということとでそここの委託料が発生している、この金額の収支の差が出ている。ただ、事業としては、やはりお子さん向けにハストピアも事業をたくさんやりますということで、とてもいいアピールになったかとは考えていて、金額だけ</p>
--	---

	<p>ではない部分というか、そういうところも事務局で考えさせていただいて事業を進めさせていただいている。</p> <p>(委員) (事務局) それはわかるが、赤字になった場合はそのお金はどこから出るのか。市の予算については、少しずれてしまうかもしれないが、歳入と歳出という予算がある。お金が入ってくる部分のお財布と、お金を支出する部分のお財布というのが分かれています。先ほどで申し上げると例えば、サーカスエコロジカルであれば、収入については、589,000円が市の収入のお財布に入ってきて、元々予算化してあった1,889,953円という金額については支出のお財布の方から出している、予算化してあるものである。そちらについては、全て市の方の歳出予算からお金を出している。収入については、市の方の収入のお財布に入ってくるものと、予算化してあるものの中から支出予算はすべてお出しさせていただいている。</p> <p>(委員) ということは、支出は市の予算から出るとありますが、それはそれで、入ってくるものは入ってくるもので収入として、事業として赤字になったものは市の税金で賄うということですか。</p> <p>(事務局) おっしゃるとおりで、この事業だけを1つだけ見てしまうとそのような形に見えてくるかと思う。ただ他の事業では大体我々もその収支を考えると収入の部分と支出の部分が大きく差異がないような形の事業を基本で考えていきたいと思っているので、例えば一つの事業で委託料が200万程度かかるということであれば、チケット収入も、もし満席になった場合に200万程度の収入があるようにというところをベースに考えている。先ほど申し上げたように事業によってはどうしてもチケット代金を多くもらうことができないもの、例えば今みたいにお子様に多く入っていただきたいとか、そういったものに対して委託料もある程度支出しなければいけないというのであればどうしても赤字になってしまう部分もあるが、事業ごとには一応基本的には収支が整うような形で事業は考えている。また、チケット代金もそういった形で先方と相談して決めている。</p> <p>(会長) これから予算にあげていくので、このあと材料色々必要になってくるので、事務局は資料集めに大変だと思うが、皆さんにこういうようなことを来年やろうと考えているということだと思う。ぜひハストピアが活用されるように、そして皆さんに来ていただいて、ハストピアのおかげでよかったと、皆さんに喜んでもらえるようなそういう企画を準備していただきたい。</p> <p>(事務局・委員) 14頁2行目「(仮)和太鼓フェスティバル in ハストピア」の説明</p> <p>その他 運営主体の検討について 次回の会議開催等について</p> <p>5. 閉会</p>
--	--